

～第10話～「下水道の歴史」についてのお話

「秦野名水」を守るために

令和4年1月
Vol. 10

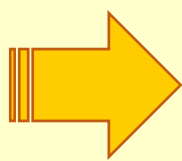
上 下 水道物語

秦野市では、昭和40年代から50年代にかけて、市内への企業進出が相次いだことや国の高度経済成長政策とあいまって、急激な都市化と人口増加が進みました。

このことに伴い、生活排水などによる河川の水質悪化が進み、自然環境及び生活環境の改善を図るため、昭和49年に公共下水道の整備が計画決定され、平成27年度末には、市街化区域における汚水管整備が概ね完了しました。

昭和63年 泡立つ水無川

現在の水無川(秦野市役所付近)



昭和63年は生活排水などにより泡立っていた水無川ですが、公共下水道の普及により水質が改善され、現在は、良好な水質環境が守られています。

下水道マスコット
キャラクター

スイスイ



事業の主な沿革

年	事業内容	ポイント!
昭和49年	第1号・第2号公共下水道事業計画の決定	処理区を3つに分ける <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央処理区 ・ 大根・鶴巻処理区 ・ 西部処理区
昭和55年	下水道条例等制定、下水道事業特別会計の設置	
昭和56年	浄水管理センター(中央処理区)供用開始	
平成10年	伊勢原市と下水処理事務委託協定締結 → 大根・鶴巻地区の一部を伊勢原市の下水処理場で広域的に処理する見直しを行う	
平成11年	西部処理区供用開始 → 神奈川県が管理する酒匂川流域下水道に接続	
平成12年	鶴巻中継ポンプ場竣工	
平成13年	大根・鶴巻処理区供用開始 → 伊勢原市の下水処理場に接続	
平成24年	大根川ポンプ場竣工	
平成28年	水道局と下水道部を統合(上下水道局設置) → 公共下水道事業に地方公営企業法適用	

3つの処理区

処理区	供用開始年月日 (西暦)	計画面積 (ha)	計画処理人口 (人)	計画一日最大汚水量 (m ³ /日)	令和2年度平均流入量 (m ³ /日)
中央 (単独公共下水道)	S56.2.4 (1981)	2,037	103,260	48,250	31,169
大根・鶴巻 (単独公共下水道) (伊勢原市との広域(共同)処理)	H13.7.1 (2001)	482	33,860	13,380	8,593
西部 (酒匂川流域下水道関連公共下水道)	H11.5.1 (1999)	59	5,080	2,220	1,253

酒匂川流域下水道関連公共下水道とは

小田原市を中心に都市化の発展が著しく、生活排水や産業排水による質量の悪化や増大に伴い、水質汚濁の進行が想定されたため、関連市町3市4町(小田原市・秦野市・南足柄市・大井町・開成町・松田町・山北町)により、昭和49年から事業が開始されました。

その後、平成元年に計画の見直しにより二宮町と中井町が酒匂川流域に編入され、平成18年には箱根町が編入となり、現在では、3市7町で事業が推進されています。



3つの異なる処理方法により、公共下水道事業を行っているのは、神奈川県下の自治体では秦野市だけです。



公共下水道の処理区の詳細については、今後の物語の中でお話していきます。